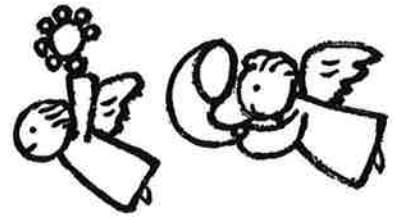




けいせん

2010.9.3



今年は、1911年にない暑い日が続いています。この暑さはまだまだ続きそうです…。長かった？ 短かった？ 夏休み、いかがお過ごしでしたか？

私たちが教習市も、学び(石川修)の時、1木見の時を過ごし、バモ1本モリフレッシュして、2学期(は)どのよう(に)子どもたちと過ごそうか、どんな成長があるだろうかとへのしみにしよから2学期の準備をしました。

キリスト教保育を行う、福岡の幼稚園・保育園の先生方と、また同じルーテル教会付属の北部九州の幼稚園・保育園の先生方と一緒に学び、交わりの時をもつことができました。感謝です。

私たちが一人ひとり、子どもも保護者も教習市も、神木菜に招かれて 恵泉幼稚園に集まっていること、その一人ひとりが大切な存在であることを改めて感じながら、「成長とは、もつれた糸をほいてゆき、ゆかりとつむいでいくようなもの…」というこぼれに思いを新たにしました。(保育(子育て)は、すでに結果がみえるものではないと思います。決められた結果もありません。だからこそ、目の前にあるその子の姿を大切に、寄り添って見守っていきなさいと思います。

2学期は、行事がたくさんあります。運動会、バザー、クリスマス…。でも、行事のための日々ではなく、子どもたちがこのしくい過ごす一日一日の延長線上にある行事としてとらえて取りこんでいきます。行事に子どもたちを合わせるのではなく、行事を子どもたちに合わせます。

大人は、いろいろなものに子どもを合わせようとしてしまいがちです。時間には、大人の都合に、育児書に。(欧米では、子どもの姿が育児書とちがうと、この本には私の子どもにはかいてないわ”というそうです！)

実は私も毎朝、「もう時間がない!!」と時計としらめ。やっとなをこたえ出すと息子が「ママ、うんち…。」。今日は早く保育園について!と思ったら「ママがいい〜」と泣く。子どもに、「母にも時間(都合)がある」ということは、段々わかってくれたらいいなとは思っていますが、私が仕事をしているのは子どもの希望ではない。だから「私の時間に合わせて!」とはまだ言いたくない。そして、一日のスタートである朝にお互い気持ちよく過ごしたい。だから…なんだ!私があと30分早起きすればいいのか!!と、前からわかってはいたけれどなかなか実現しなかったことをやっと実践中です。

無理に(何か)に合わせたり、決められた目標だけを目標とするのではなく、子どもの今のありのままの姿を、思いを、ど〜んと受けとめることができたら、かえって肩の力が抜けて、その子のよいところがより光ってみえて、保育も子育てもうれしくなるのかもしれないね。